

# 令和6年度 瀬戸小 学力向上プラン

壱岐市立瀬戸小学校

## 学校教育の核である『授業』を中心に据えた学力向上

### 1 児童生徒の学びの姿や身に付いた力に焦点をあてた授業改善を図る。

- (1) 『第五版』を拠り所とした授業の日常化や各種研修会の充実を図る。
- (2) 一単位時間の中で、児童生徒がどのような姿で学び、その結果どのような力が身に付いたのかを意識して授業改善を推進する。

### 2 成果と課題を分析し、指導の重点を絞って授業力向上を図る。

- (1) 前年度の学校訪問等での共通評価表の結果や助言内容等を基に、今年度の指導の重点を明示し、周知する。
- (2) 授業分析シートを活用して、児童の学ぶ姿で授業改善に取り組む。

### 3 全国学力・学習状況調査及び県学力調査結果等を分析し、プランを見直す。

- (1) 全国学力・学習状況調査や県学力検査等の分析を通して、県や市及び各校の状況や課題を捉えとともに、具体的な改善策を考案する。
- (2) タブレットや電子黒板等のICT機器の効果的な活用を推し進める。

## 瀬戸っ子の学力の向上

### 学校教育目標 心豊かで、たくましく、確かな学力を身に付けた児童の育成

#### 経営方針

- 信頼を基本とし、教育目標の共有と共通理解・共通実践に立った学校づくり
- 児童・家庭・地域から信頼される地域に開かれた学校づくり
- 信頼し合い、互いに学び合う教職員が協同で取り組む学校づくり

### 研究主題「書く活動を生かして、主体的に学び、問題解決する児童の育成」

#### 授業改善

- ①『第五版』を拠り所とした算数科の授業の質的向上
  - ・45分完結授業
  - ・児童の考えが深まる主発問と切り込み発問の工夫
  - ・ICTを活用した効果的な学びの工夫
- ②書く活動の充実
  - ・4つの過程で書く活動の設定
  - ・順序を表す言葉の活用
  - ・式や図などを用いた説明の工夫
- ③聞く・話す力の向上
  - ・聞く・話す態度の育成
  - ・表現力の育成

#### 授業改善以外

- ①帯活動の充実
  - ・ぐんぐんタイムの指導体制、指導内容の充実
- ②学習環境の整備
  - ・算数コーナーの充実
- ③児童の表現力を引き出す活動
  - ・集会時の感想発表の場
- ④家庭学習の充実
  - ・家庭学習の手引きの活用
  - ・自主学習の効果的取組
  - ・日記や作文など書く活動を設定する。

#### 家庭・地域との連携

- ①家庭学習の習慣化
  - ・「家庭学習の手引き」の活用
- ②読書・音読、ファミリー読書の実践
  - ・年間読破冊数の設定
  - ・個に応じた本の内容の選択
- ③基本的な生活習慣の確立
  - ・清潔調査の継続実施
  - ・学校保健委員会の取組推進
  - ・ぐんぐんバンクによるメディアコントロールの取組推進
- ④地域と連携した教育活動の実践
  - ・生活科や総合的な学習の時間の充実